



Cisco UCS VIC ドライバのアンインストール

この章の内容は、次のとおりです。

- [Linux ドライバのアンインストール, 1 ページ](#)

Linux ドライバのアンインストール

管理接続が eNIC の場合、ドライバのインストールを完了するには、シリアルまたは KVM コンソールを使用することを推奨します。現在のドライバの `rmmod` を完了すると、eNIC のネットワーク接続が失われます。

SAN ストレージからブートする場合、SANLUN の使用にこのドライバが必要となるため、`rmmod fNIC` コマンドを使用して既存の fNIC ドライバを削除することはできません。代わりに、`rpm --erase old-kmod-fnic-rpm-name` コマンドを入力して古い RPM を消去します。

手順

ステップ 1 次のいずれかのコマンドを入力して、既存のドライバを削除します。

ドライバ	コマンド
RHEL 用 eNIC ドライバ	<code>rpm -e kmod-enic</code>
SuSE 用 eNIC ドライバ	<code>rpm -e cisco-enic-kmp-default</code>
RHEL 用 fNIC ドライバ	<code>/sbin/rmmod fnic</code>
SuSE 用 fNIC ドライバ	<code>rpm -e cisco-fnic-kmp-default</code>

ステップ 2 ホストをリブートします。
ホストをリブートできない場合、手動で実行中のドライバをアンロードし、次のコマンドを入力して以前にインストールされたドライバをリロードします。

`rmmod enic`

modprobe enic

- ステップ 3** ドライバがホストから削除されていることを確認します。
sbin/lsmmod | grep {enic | fnic}
-